

令和4年度 「宮崎ひなた生活圏づくり」
地域ワークショップ開催支援業務仕様書

1 目的

「宮崎ひなた生活圏づくり」の取組として、住民の内発的議論や地域運営組織の形成等に向けた取組を促進するため、市町村と連携し、地域住民による将来人口の見通し等を踏まえた地域課題の共有や、その解決に向けた取組事項の合意形成を支援する。

2 委託期間

契約締結の日から令和5年3月31日

3 業務内容

(1) 地域におけるワークショップの実施

「ひなたまちづくり応援シート」を活用し、地域住民における将来の人口見通しや地域の課題等を話し合うワークショップを開催する。

- ① 開催回数等 中山間地域に存する3地区において各地区5回程度を標準とする。ただし、地区の状況によって、協議の上決定する。
- ② 時期 概ね令和4年8月～令和5年2月
- ③ 対象者 主に地域住民。ただし、当該地域で活動する団体等がある場合には、積極的に参画を促すこととする。

④ 留意事項

- ア 実施地区の選定は、市町村の希望等を勘案し、県で行う。
- イ ワorkshopの実施に先立ち、県及び関係市町村と参加の呼びかけや進め方等について打ち合わせを行うこと。
- ウ 会場設営、備品(映像機器、PC等)や資料・資材の準備、進行、運営を行うこと。
- エ ワorkshopの成果として、今後の地区の目標や取組事項等のとりまとめを目標とすること。
- オ ワorkshopにおいては、必要に応じて、外部講師の招へいも含め、他地域(他県も含む)の先進事例紹介や実行段階で必要となる知識(資金調達・運営)等についての解説も行うこと。また、既存の地域人口分析ツールを有している市町村については、協議の上、「ひなたまちづくり応援シート」との代用又は併用を可とする。
- カ ワorkshopの実施結果を踏まえ、取組実現までの県や市町村のフォローアップ方法について助言を行うこと。
- キ 新型コロナウイルス感染症に必要な感染防止対策を徹底したうえで実施すること。

(2) とりまとめ、事業実施報告書の作成

記録写真の撮影や内容等の概要など、本業務の実施内容をとりまとめ、事業実施報告書を作成すること。

4 経費

会場費・設備使用料、会場装飾費(看板等)、講師の講演料・謝金、交通費、飲食費及び宿泊費、資料作成費等、実施に要する全ての経費を委託費に含む。

5 成果品等

本業務の成果品等は、次のとおりとする。

- (1) 事業実施報告書・・・・・・・・ 2部
(製本せず、ドッチファイルに綴じた状態で提出すること)
- (2) 電子データ一式・・・・・・・・ 1式

6 成果品等の納入場所

本業務の成果品等の納入場所は、県が指定する場所とする。

7 その他

- (1) 成果品についての権利は、県に帰属する。
- (2) 資料・成果品の製作にあたって、県・関係市町村と十分に連絡取りながら行うこと。
- (3) 本仕様書について疑義が生じた場合、又は定めのない事項については、別途協議すること。